

みやき 三養基土地改良区における男女共同参画

～土地改良区の発展に向け新人理事を皆で支える！～

三養基土地改良区

所在地：佐賀県三養基郡みやき町
面積：2,049ha 組合員：2,865人
総代：64人
理事：18人（うち女性2人）
監事：3人（うち女性0人）
職員：3人（うち女性1人）
(R6.4.1現在)



女性理事登用までの経緯

- R4.10～R5.11 理事会で女性理事登用について検討し、女性理事の登用方針を決定
R5.11～R6.1 女性理事候補者を選定し、理事就任を依頼
R6.3 定款変更（定数2名増）し、女性理事（員内）2名を登用

女性理事登用までのポイント

Q. どのように候補者を見つけたか

- A. 事務局で女性の組合員をリストアップし、人柄等を考慮の上、候補者を選定。

Q. 女性理事登用に必要なこと

- A. 女性理事登用にあっては、令和4年度から検討を始め、段階的に準備を進めたため、大きな苦労はなかった。女性理事登用を土地改良区の発展につなげるため、就任後のフォローアップ体制の構築が必要。

女性理事登用により期待すること

Q. 女性理事登用により期待すること

- A. 就任してもらったばかりでまだどのような効果があるか分からないが、女性理事が理事会等で質問や発言をすることにより、ほかの理事も意見が出しやすい雰囲気生まれ、活発な議論につながるのではないかと期待している。

Q. これから女性理事登用を予定している土地改良区へ一言

- A. 新任理事は総代会や理事会等、会議の場に慣れていない方も多いため、仕事の内容だけではなく、会議のしくみ等についても丁寧に説明し、土地改良区に興味を持ってもらうことが大切だと思います。

たけだ きみよ 武田 紀美代 さん

令和6年4月に三養基土地改良区初の女性理事（員内）に就任。現在1期目。ご主人とともに稲作に取り組む。



Q. 理事の仕事内容は？

- A. 庶務担当理事として、事務局が作成した文書の確認など庶務業務を行っています。

Q. 理事を引き受けたきっかけは？

- A. 地域のイベント等に積極的に参加していたところ、以前から知り合いであった事務局長に声をかけられました。土地改良区のことにはよく知りませんでしたが、地域の役に立つならと思い、引き受けました。

Q. 実際に理事を経験してみてどうですか？

- A. 就任したばかりでよくわかっていない部分もありますが、これから理事会等を通じ、理事としての職務や土地改良区のことについて学んでいきたいと思っています。

じょうの みきこ 城野 美喜子 さん

令和6年4月に三養基土地改良区初の女性理事（員内）に就任。現在1期目。



Q. 理事の仕事内容は？

- A. 会計担当理事として、もう一人の会計担当理事と協力し、伝票のチェックなど経理事務の確認を行っています。

Q. 理事を引き受けたきっかけは？

- A. これまでの土地改良区との関りは、組合員として賦課金を納付する程度のものでしたが、同級生である事務局長から声をかけられ、男女共同参画に興味を持っていたこともあり、引き受けました。

Q. 実際に理事を経験してみてどうですか？

- A. 就任したばかりで業務は分からないことだらけですが、男女共同参画が当たり前となっている世の中で土地改良区も女性の参加が当たり前になってほしいと思います。

新人理事を支える取組

理事長や事務局長などが、理事会等で説明をする際には詳しく説明するよう心掛けています。説明内容について質問はないか確認する頻度を増やすとともに、質問が出ない場合でも、説明内容を理解していないと感じたら、会議後に追加の説明を行う等の対応を行っています。

― 土地改良区の将来のために多様な意見を！ ― (員外理事制度の活用による女性理事登用事例)

財部町土地改良区について

所在地: 鹿児島県曽於市
面積: 607ha 組合員: 1,328人
総代: 48人(うち女性0人)
理事: 23人(うち女性1人)
監事: 3人(うち女性1人)
職員: 2人(うち女性2人)
(令和5年11月時点)



堀野理事長

橋口理事

橋口まゆ 理事 プロフィール

- ・理事就任の時期: 令和5年3月から
- ・主な経歴: 女性農業経営士、農業推進委員、
地元グループ「Soo Women Farmers」代表
- ・普段のお仕事: 製茶業、農業
- ・理事としてのお仕事: 勉強中。人と人を繋ぐことができれば。
- ・理事に就任した経緯: 理事長からの打診



女性理事へのインタビュー

Q. 理事に就任されるまでの流れを教えてください。

A. 就任の2カ月ほど前から理事長にお声がけいただき、事情等を伺い就任を決断しました。土地改良区の活動は知りませんでしたが、親と理事長は仲が良く、理事長の人柄を知っていたことも良かったと思います。話を聞く中で、改めて農業を助けてもらっている組織が色々あることに気づかされました。

Q. 実際に理事として活動する中で感じたことを教えてください。

A. 現在勉強中ですが、知識を増やすことは必ず自分のプラスになると思います。学んだことを地域の女性にシェアするなどして、多くの方と連携しながらパズルのピースを合わせていければ、地域の農業も良くなるのかなと思っています。

Q. 土地改良区職員や他の役員に求めることはありますか？

A. 総会等の中で意見を述べるまでまだハードルの高い雰囲気があり、正直コミュニケーションが取りづらい部分もあります。まずは名前・顔を覚えて互いに話がしやすくなるような機会があるとありがたいです。
立場の視点は重要であり、“男女”は問わず、あまり意識しすぎないよう意見を対話できるような環境を望みます。

理事長・事務局へのインタビュー

Q. 女性理事を登用するにあたって苦労したことはありますか？

A. 地区の代表に話しても前向きな意見が出てこなかったこと。そのため、理事長として日常的に地域の活動をされている方にお声がけしました。

Q. 土地改良区の男女共同参画を進めるにあたって重要なこと・必要なことはどのようなことだと思いますか？

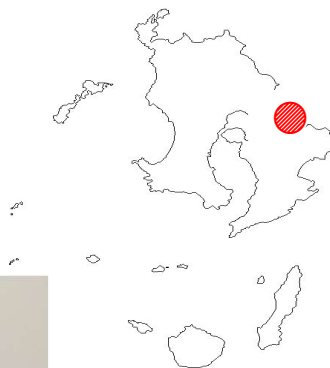
A. 役員の世代交代により、バランスの良い年齢構成となること、また女性理事を迎える機運を高めることが必要だと思います。土地改良区の将来のためには多様な意見が必要であり、女性も入らなければ運営が上手くいかなくなると思います。

九州農政局管内の土地改良区における女性活躍事例 (曾於北部土地改良区)

— 水の良さを地域の方々に発信へ — (土地改良区組合員からの女性理事登用事例)

曾於北部土地改良区について

所在地: 鹿児島県曾於市
面積: 1,988ha 組合員: 2,828人
総代: 45人(うち女性0人)
理事: 12人(うち女性1人)
監事: 3人(うち女性0人)
職員: 5人(うち女性0人)
(令和5年11月時点)



山ノ内理事

新澤津事務局長

山ノ内ひさえ 理事 プロフィール

- ・理事就任の時期: 令和5年4月1日から
- ・主な経歴: 農業委員、JA理事、
JAそお鹿児島女性部副部長、
現JAそお鹿児島女性部部長、
女性農業経営士
- ・普段のお仕事: 農業(ハウス栽培と露地野菜)
- ・理事就任の経緯: 事務局からの打診



女性理事へのインタビュー

Q. 理事に就任された経緯について教えてください。

A. 事務局より相談があり、前女性理事とも面識があったこともあり「私で務まるのであれば」と返答しました。畑かん事業で整備された水をキク栽培等に使用しており、水のありがたみを知っていたので、以前から土地改良に興味はありました。

Q. 実際に理事として活動する中で感じたことを教えてください。

A. まだ理事になったばかりなので、分からないこともあります。顔見知りの理事もいるので、理事会での発言は比較的しやすいです。他の活動(JA女性部など)にも当てはまりますが、活動する上では家族の理解があるのが一番だと思います。主人にすると言われていたら、理事を引き受けなかったかもしれません。

Q. 現在の理事としての職務内容を教えてください。

A. 就任1年目ということで、研修に参加するなどまだまだ勉強中ですが、離農者が多い現状もあるので、水利用の良さを知ってもらうために色々な視点からアイデアを出したいと思っています。

理事長・事務局へのインタビュー

Q. 女性が理事に加わったことで何か変わったことはありますか？

A. 理事会の雰囲気は女性が1名いるだけで雰囲気はがらっと変わります。また現理事への刺激にもなっていると感じています。

Q. 女性理事候補者はどのようにして探されましたか？

A. 役員改選の半年ほど前から役員や総代、市の営農推進担当者に相談していたところ、市よりJA女性部長もされている山ノ内さんを紹介いただきました。やはり女性組合員が少ないという部分が打診していく際のハードルとなりましたが、快く引き受けて頂きました。